



マダニに注意



宮崎県内では、マダニに咬まれることによって感染する重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) の報告数が、全国で最も多くなっています



重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) とは

◆潜伏期間 (感染して症状がでるまで)
6日間から2週間程度



◆症状
発熱 (38℃以上)、
腹痛や下痢などの消化器症状
<稀に出現>
頭痛、筋肉痛、神経症状、
リンパ節腫脹、出血症状
<血液検査>
白血球や血小板の減少

肌の露出を少なくしましょう

予防には、マダニに咬まれないことが重要です

- つばのある帽子をかぶる
- 首にタオルを巻くか、
ハイネックのシャツを着る
- 服の素材は化学繊維など
ダニの付きにくいものを着る
- シャツの袖口は手袋の中に入れて
- ズボンの裾に靴下を被せる
- 防虫スプレー (イカリジンや
テートを含む) を使用する
- 衣服を家の外で叩いて、
マダニを家の中に
持ち込まない
- シャワーを浴びて
吸血前に除去する



マダニに咬まれたら

マダニに咬まれても、痛みや痒みがなく、気付きにくいです

- 吸血中のマダニに気付いたら、
無理に取ろうとせず、皮膚科
などの医療機関を受診する
- マダニに咬まれた後、
3週間程度は体調に
気をつけ、発熱などの
全身症状がある場合は
内科を受診する



ペットの対策も

ペットのSFTSの感染や、まれですが、発症したペットから人へ感染する事例も報告されています
次のことに気を付けましょう

- 獣医師に相談のうえ、
定期的にダニの駆除剤を使用する
- 散歩後はブラッシングし、
マダニがついていないか確認する
- 過剰な触れ合いを避け、
触れた後は必ず手洗いする
- ペットの体調に注意し、体調不良
の際には、動物病院を受診する



タカサゴキララマダニ
(宮崎県衛生環境研究所)
体長は数mm～
吸血後は1cm程度

詳細はホームページ
を御参照ください

SFTS 宮崎県

検索



宮崎県